

<p>【技術の名称】 PSD-S工法Ⅱ —既製RCパイルを用いた杭状地盤補強工法— (改定4)</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第10-07号 改4 性能証明発効日：2023年12月25日 性能証明の有効期限：2026年12月末日</p> <hr/> <p>【取得者】 アンドーパイル販売株式会社</p>
--	---

【技術の概要】

本技術は、スパイラルオーガを用いて所定の深度まで地盤を掘削し、その掘削孔に圧入力を計測しながら既製鉄筋コンクリート杭（以下、“パイル”と称する）を杭状地盤補強材として圧入する工法である。なお、本工法による補強地盤の鉛直支持力は、基礎底面下の地盤の支持力を無視して杭状地盤補強材の支持力のみを考慮することとしている。

【改定・更新の内容】

- 新規：GBRC 性能証明 第10-07号(2010年6月8日)
 改定1：GBRC 性能証明 第10-07号 改(2010年10月18日)
 ・先端金物の追加
 改定2：GBRC 性能証明 第10-07号 改2(2016年7月5日)
 ・工法名称の変更
 ・申込者を2社から1社に変更
 ・適用構造物の範囲変更
 ・地盤調査箇所数に関する規定追加
 ・ほぞ継手の高さに関する規定変更
 更新：GBRC 性能証明 第10-07号 改2(更1)(2019年7月1日)
 改定3：GBRC 性能証明 第10-07号 改3(2021年8月10日)
 ・パイル種類の変更(JIS材と同等以上の品質と強度を有するものを追加)
 改定4：GBRC 性能証明 第10-07号 改4(2023年12月25日)
 ・パイルの追加(φ150mmの追加)
 ・先端金物仕様の追加

【技術開発の趣旨】

本技術は、主に小規模建築物を対象とし、低騒音・低振動で、かつ、狭小地での施工性を考慮して開発した工法である。本工法の特徴は、パイルを小径に限定することで、小型施工機による狭小地での施工を可能としていることである。また、パイル圧入前にスパイラルオーガを用いて所定の深度まで地盤を掘削する際、正転による掘削と反転による引き上げを行うことで、排土が極めて少なく経済性と環境にも配慮していることである。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、単杭状の補強材の鉛直支持力についてのみを対象としており、以下の通りである。
 申込者が提案する「PSD-S工法Ⅱ 設計・施工基準」に従って施工されたパイルの許容支持力を定める際に必要な地盤で決まる極限支持力は、同基準に定めるスクリーウエイト貫入試験結果に基づく支持力算定式で適切に評価できる。
 また、本技術については、規定された施工管理体制が適切に運用され、工法が適正に使用されている。



写真-1 使用材料



写真-2 狭小地への搬入



写真-3 構造物に接近した施工

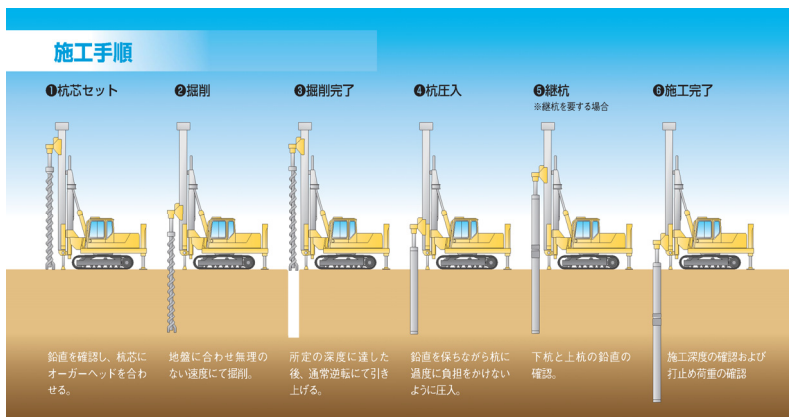


図-1 施工手順

【本技術の問合せ先】

アンドーパイル販売株式会社 担当者：定京 隆
〒270-1501 千葉県印旛郡栄町矢口神明 1-5-7

E-mail：sadakyo@andopile.co.jp
TEL：0476-95-1161 FAX：0476-95-0857